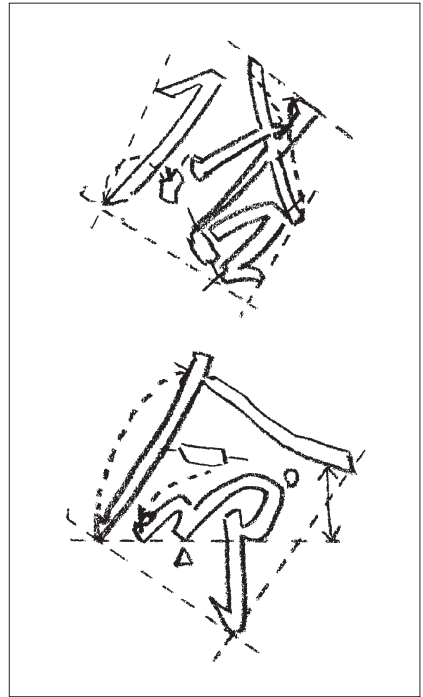


◆半紙一行たて書きに臨書して下さい。出品料420円

興福寺断碑



1、語句「啓命」

2、形式「半紙タテ使用。中央に「啓命」と臨書し、左余白に調和を工夫し、落款「〇〇臨」と書き入れる。

3、概観「今月から王羲之の文字を集字した興福寺断碑を課題とします。

王羲之の文字を集字した碑は数多く残っていますが、集字聖教序と興福寺断碑が双璧と言われています。この興福寺断碑は七十二年僧大雅によって集字され建てられた碑ですが、その後所在不明となり、明の万暦年間に西安の城壕の中から発見。しかし、発見されたときには、すでに碑の上半は失なわれていた。そのため、「断碑」または「半截碑」とよばれている。いま存しているのは下半分であり、現在は西安碑林にある。

4、各字のポイント

啓 すべての画が直線的。そう思って全体を見てみるとかなり直線的に書かれていることに気付かされる。口部は下すばみに。長画の角度よく観察したい。

命 一画目直線的に末筆まで力を抜かない。二画目もほぼ直線的に。二画目は一画目より開き加減に。三画目は少し右下がりに。△で筆を突き筆の裏面で連筆し、○で表面に返す。

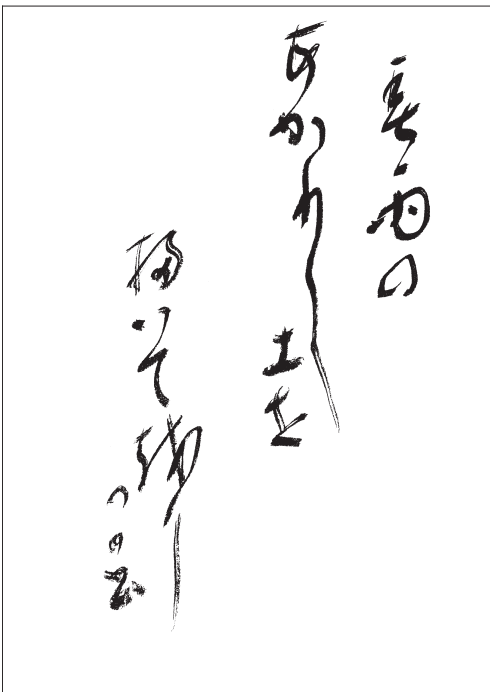
昇試第三部 (漢字・かな) (予告) (三月二十二日締切)



平岡華雪先生書 春は鳥声を逐って開く。(太宗)

訳：春が鳥のさえずりと共にはじまる。

平岡華雪先生書 春雨の上りし土を掃いてをり(星野立子)



書 選 — 甲午 —



鈴木静村会長書 駿馬千里



平岡華雪先生書

風吹き梅径香る

「馬」歳を迎えると、私には憶い出
 多々……。60年前中国東北部の馬部
 隊に入り、愛馬と出会う。この馬と
 苦楽を供にした。いや、かえって助
 けてもらったことが多かったと思う。
 飼い主が絶対に真に尽くしてくれ
 た。馬は競馬、馬力だけではない。

新 春



高橋香樹主幹書 春

人間以上の信頼感を有ち、飼い主への傾注がすさまじい。私は「駿」という清音と語義が大好きで、愛馬の名付けとなったが、今もって懐しい昔のひとこととして生き続けている。

（鈴木静村）

林

子麻先生書

元朝やわか水つかふ戸に近き
 やなぎの花に淡雪ぞふる
 柳のつぼみ淡くをふりさるる
 子麻書

元朝やわか水つかふ戸に近き
 やなぎの花に淡雪ぞふる

（与謝野晶子）

興福寺断碑



肇自石樓東鎮守 封司地之班 金冊(西符)
 肇め石樓東の鎮守よりして、司地の班に封ぜらる。金冊もて(符を西し)

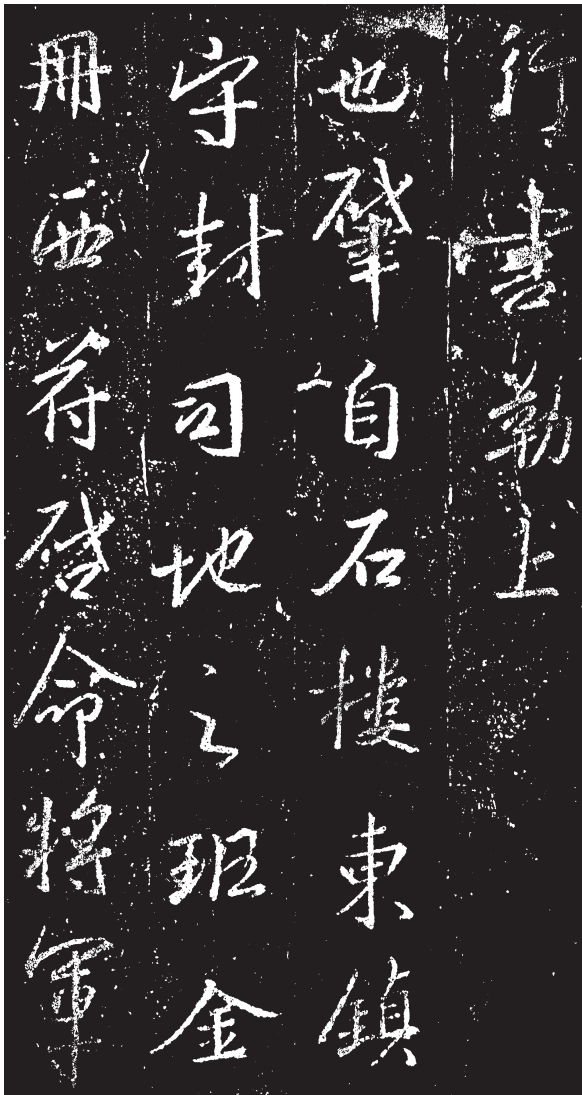
条幅臨書部は半紙臨書部と連動
 しています。半紙に取り組んだ
 方は是非条幅にもチャレンジし
 てください。また条幅だけ出品
 も大歓迎です。

▽字詰め自由。

▽落款は「○○臨」と調和を

工夫し書き入れる。

▽出品料五二五円。



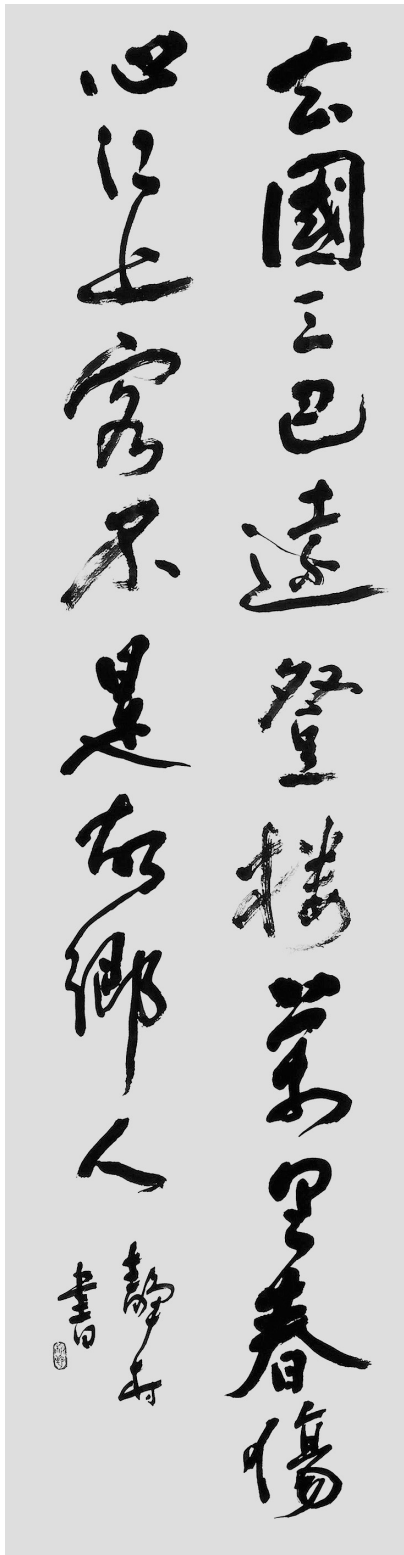
◆注意 ・条幅臨書部の出品はバーコード券右空欄に条臨と記入する。

A 高橋香樹主幹書



去國三巴遠 登樓萬里春 傷心江上客 不是故鄉人（盧僊）
 国を去って三巴遠く、楼に登れば万里春なり。心を傷ましむ江上の客、是れ故郷の人ならず。
 訳：故郷をはなれて、遠く三巴の地にあり、たかどのに登れば、見わたすばかりの春景色。心はいたむ川のほとりの旅人である私は、この地を故郷とする人ではないのを。

B 鈴木静村書



行書中心の作。（草書は登萬客不の四字）二十字二行なので、文字の大小の変化、縦へ伸ばす字（樓 横へ広がる字（遠上客是人）を随所に配す。連綿は二字連綿が四ヶ所、三字連綿が一ヶ所。数ある点を効果的に使用し流れを表出。また、長画は筆線の呼吸にも意を注ぎたい。

久しぶりに五言二十字の課題。七言二句とはちがいが、やや小粒の変容に、新味の発揚を期待したい。私の構成は右行十一字としたが、何も決められたものではない。墨継ぎは「萬・是」にしたが凡て各自で。登（ハツガシラ）の書き方多い。字典参照のこと。萬 墨継ぎ。里 小さく縮めて、春 左右払い伸びやかに字幅。傷 細めに右行を締める。江上 連綿線に活き。是 墨継ぎ。故郷 脈絡線に弛みなく、郷 末画、伸びやかに味わいも。落款 この形では「書」は行書、印は賑わいよくスキリと。

予告 昇試第一部漢字（三月二十二日締切）

出得城来事幽

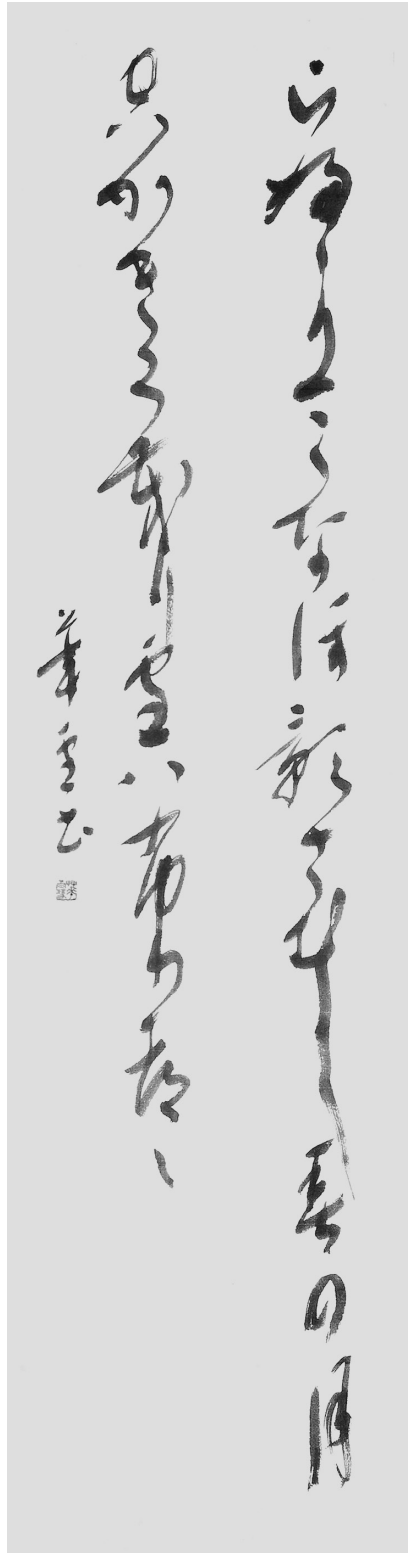
涉湘半濟值漁舟（楊万里）

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条漢を○で囲み（1）と記入する。）
 - ・二枚目からの出品（バーコード券の条漢を○で囲み（ ）に何枚目か数字を記入する。出品料525円）

A

平岡華雪先生書

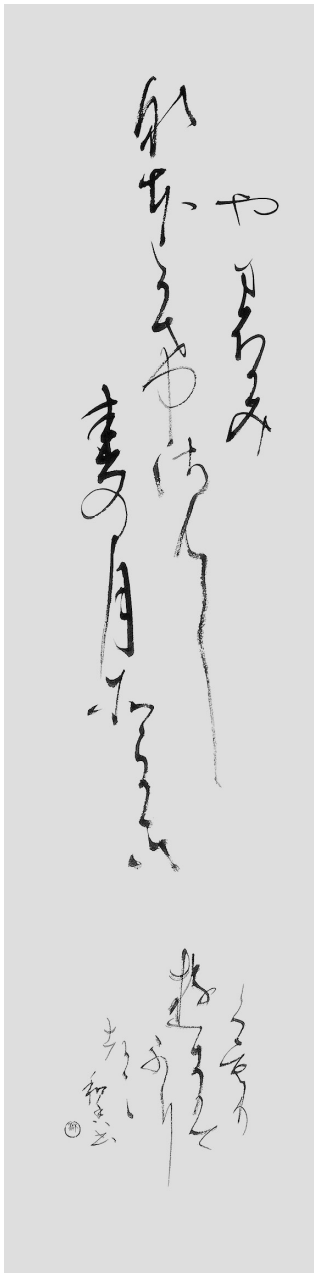
山ふかみなをかげさむし春の月空かきくもり雪はふりつゝ、(新古今和歌集 越前)
山婦可三なほ影さむし春の月空かき久茂り雪八布利都、



B

小林和香先生書

や万不可み那本可希佐んし春の月所ら可き久毛利遊支盤ふり都、



越前(生没年未詳)
代々歌人を出している大中臣氏の出身で、散位公親の女。初め後鳥羽上皇の生母七条院殖子に、のち後鳥羽上皇の皇女嘉陽門院礼子に仕えた。

学び方

歌意：山が深いので春の月の光はなおも寒々としている。空は一面に曇り雪は降りつづいて。
二段の構成にしてみました。上段のかたまりが下段と響きあうように、行尾を全体的に右に傾けてみました。「春の月」にポイントを置きたかったので、隣の行はあっさり弱めにしました。「の」から「月」は反動法を使って、「の」の前後の字間にも配慮して変化を持たせリズムカルに書いてみてください。下段は小ぶりにまとめてみました。「遊」を大きめに、渾筆の中にも濃い部分を作ることで単調にならないよう気を付けました。全体的に墨の潤濁、字間・字幅、行の流れに注意して楽しく書いてみてください。

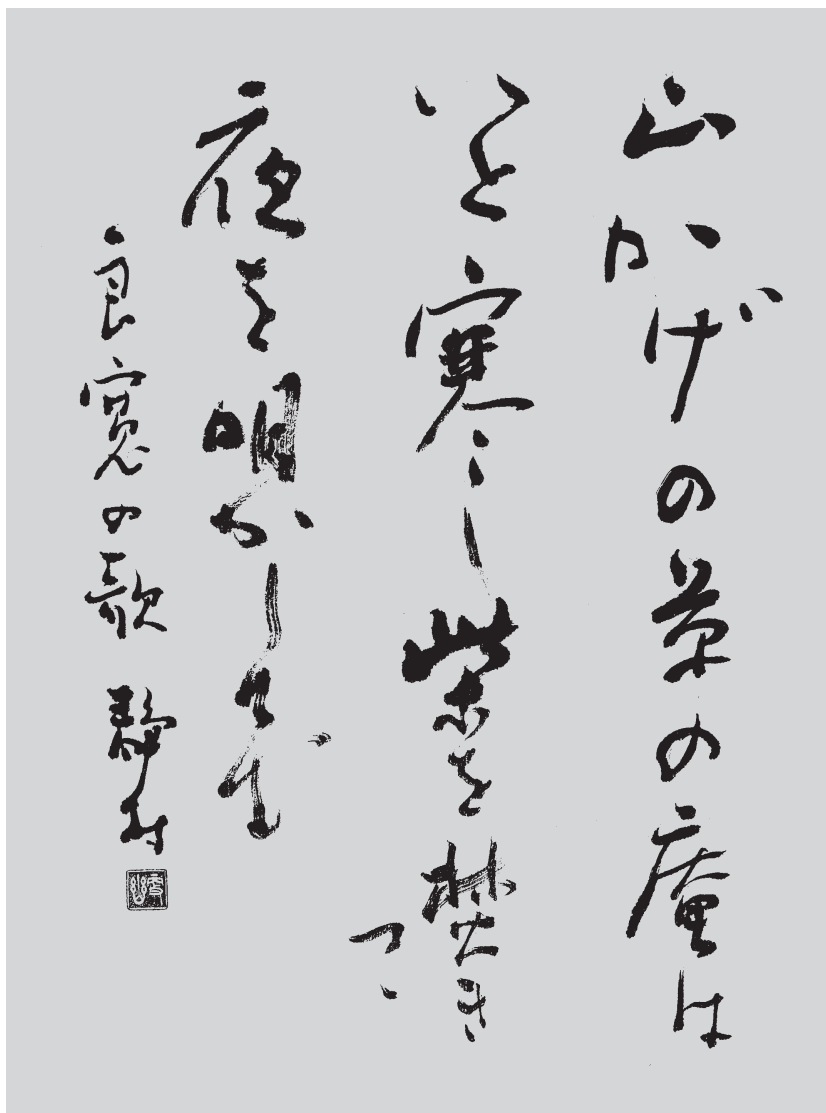
予告 昇試第一部かな(三月二十二日締切)

ただひとり泣かまほしさに来て寝たる宿屋の夜具のこころよさかな(石川啄木)

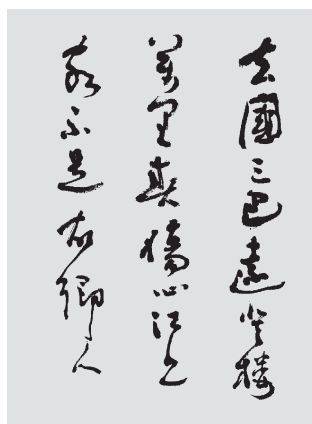
- ◆注意 ・条幅部の出品は一人一点(バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品(バーコード券の条かを○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料525円)

鈴木静村書

山かげの草の庵はいと寒し柴を焚きつつ夜を明かしてむ(良寛)



この作は何も意図したわけでもなく、落款の「——」の歌「——」まで、墨継ぎなしの一笔書き。「静村」で墨を継ぎ縮めた。一般には「柴」で墨、さてみなさんはどうでしょうか。「つ、」の寄せ、重くならぬよう。サラリと。「む」の点、離し過ぎ？これは私の好み。「落款印」うるさくなく、スッキリ感でメ。



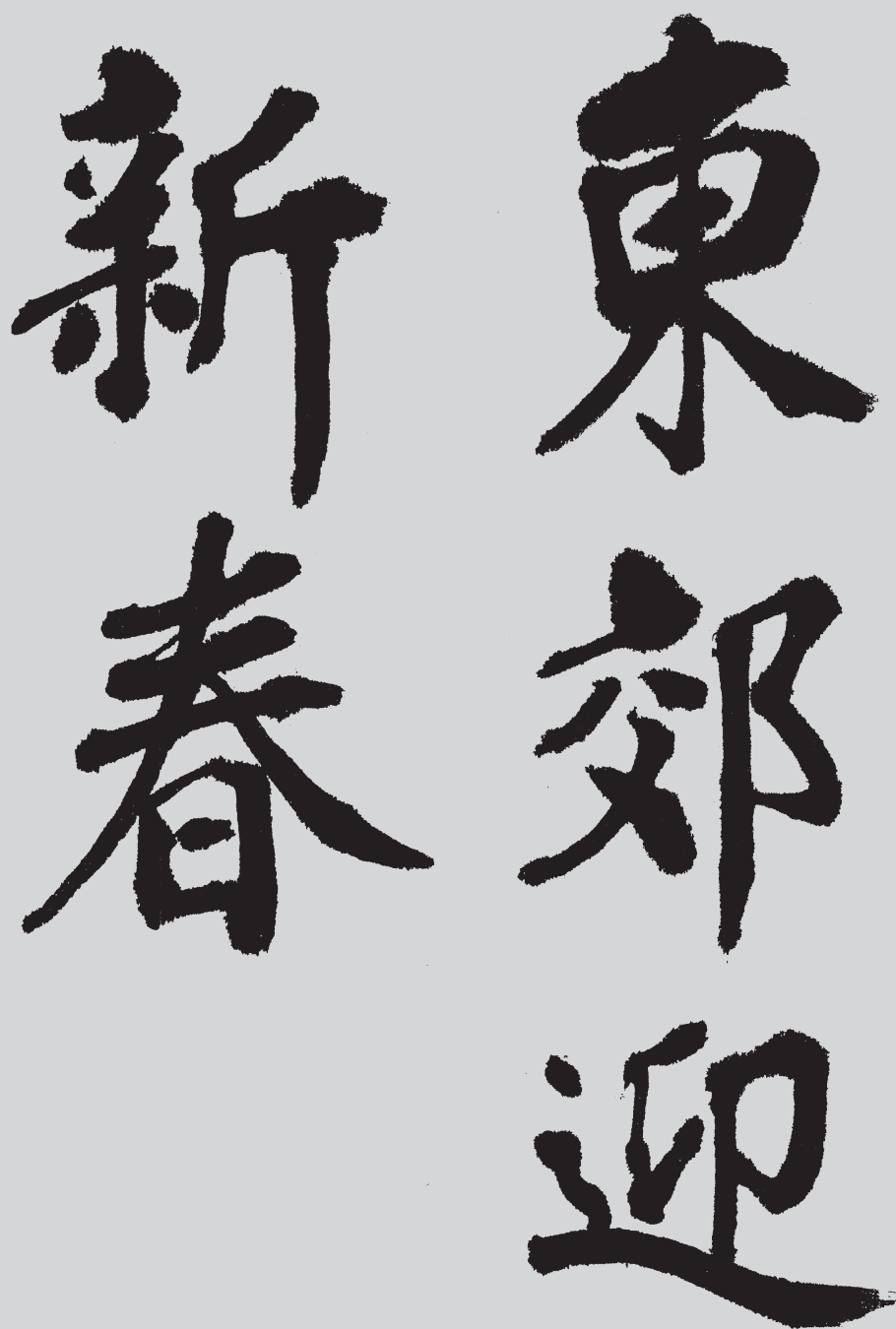
参考として、
半紙三行作
条幅への予備練習
として、事前に筆
均す。これも日常
での私のクセ。今
回は「漢字かな交
じり作」を意識し
てのこと。書いて
みると随意部作と
しても適切——。

- ◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。出品料525円。
①バーコード券右空欄に漢かと記入 ②支部名または都道府県名
③氏名または雅号 ④新

平岡華雪先生書

東郊新春を迎ふ(文徵明)

訳：新春を野辺に迎える



〈主画について〉

主画(中心になる画)は、キリッと決めることです。これがおどおどとしては、まず失敗もの。各字の○印に注意して書き込んでほしい。

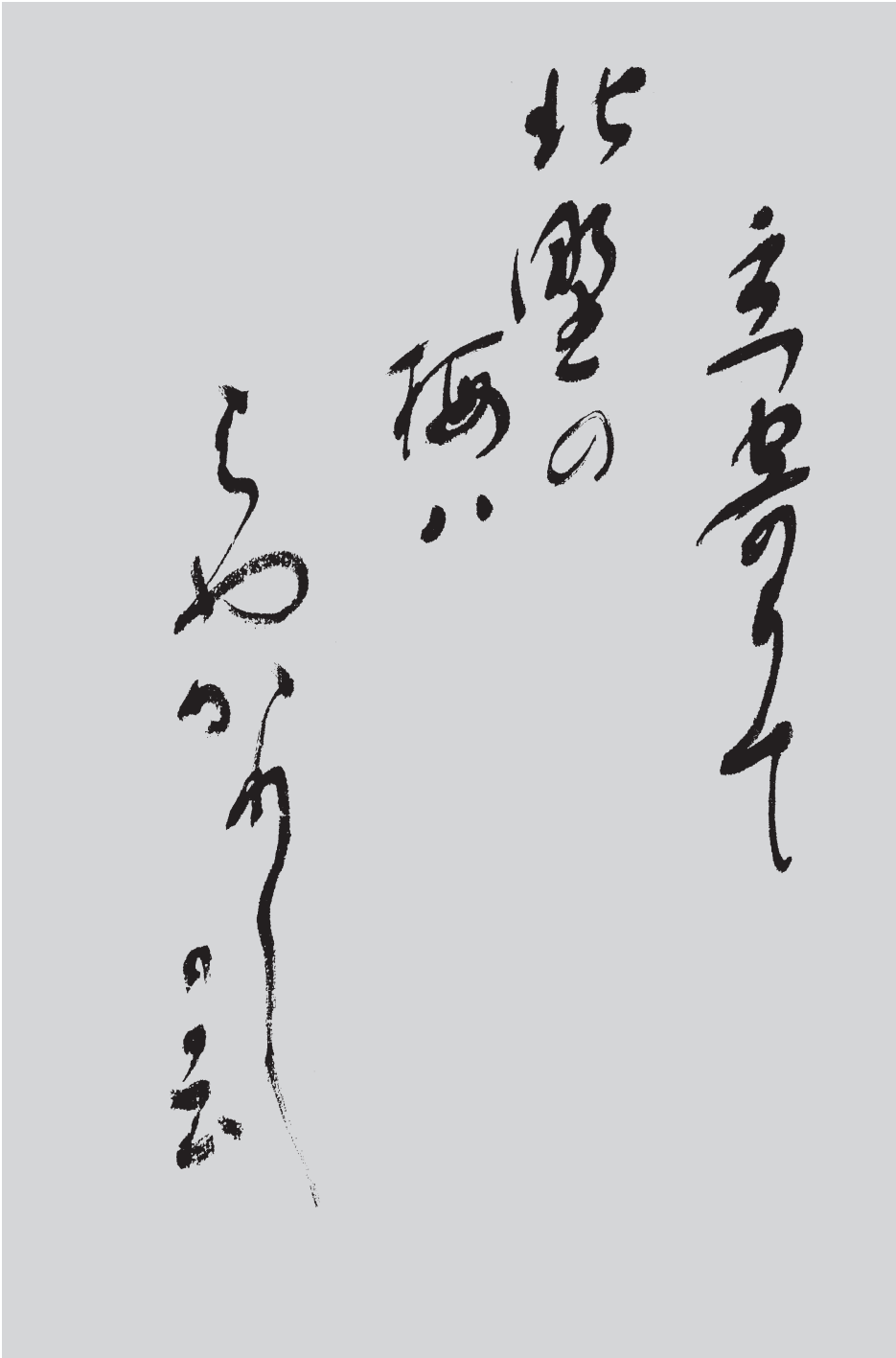
東郊新春

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は420円。

①漢字部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

平岡華雪先生書

立寄りて北野の梅は早かりし (いはほ)
立寄りて北野の梅八者やか利し



〈意を用いて〉

三部構成の散らし。上の句、中の句に漢字五文字の表出で、かなとのバランスが留意点。特に中の句は筆調の上で強調される部分ですから、渴筆を交えた表出に意を用いて下さい。下の句は、落款と合わせ、単調にならぬように――。

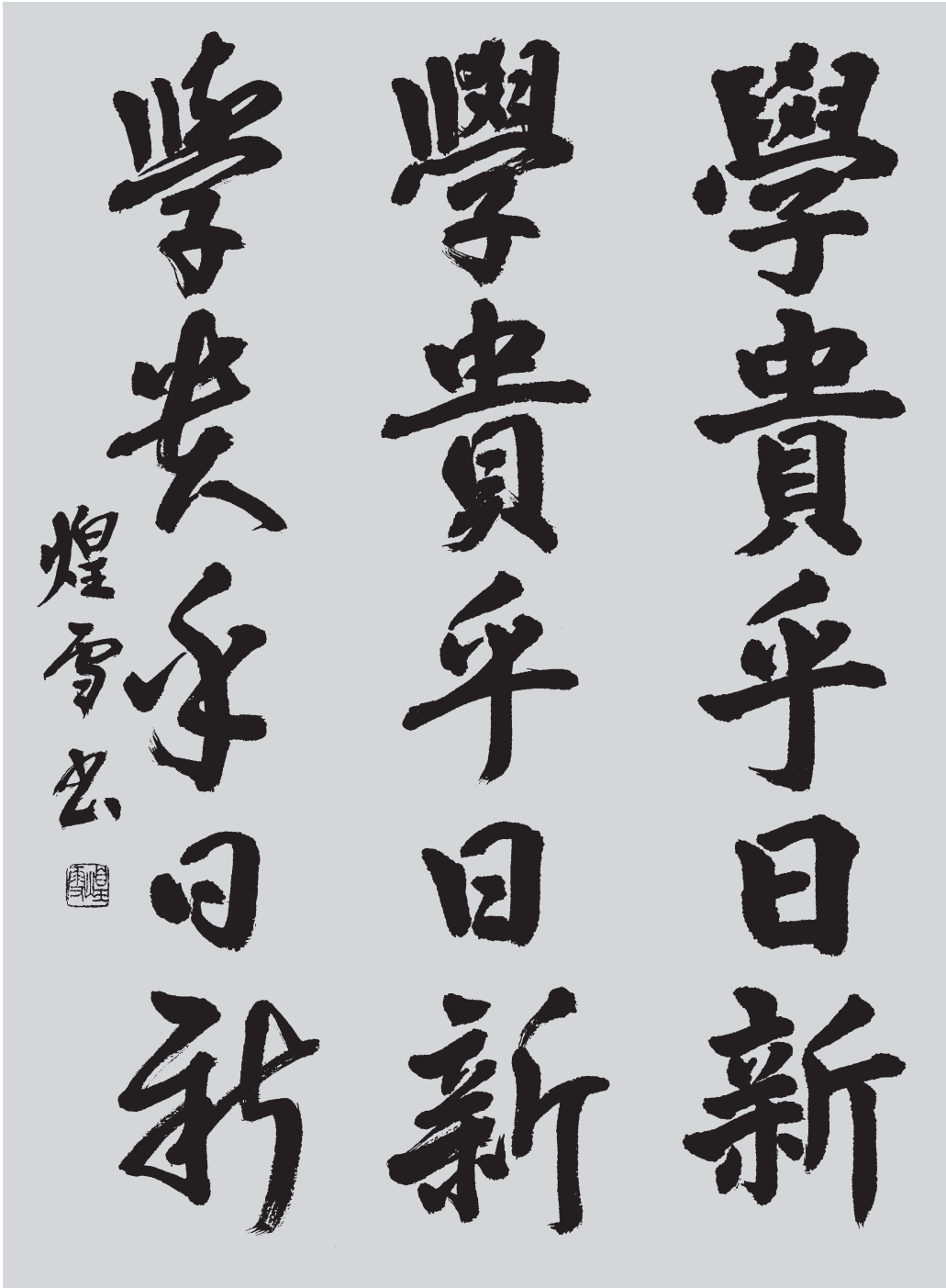
◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は420円。

①漢字部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

星野煌雪先生書

學貴乎日新（程顥）
學は日に新たなるを貴ぶ。

訳：学問は日に進み、日に日に新たなるべし



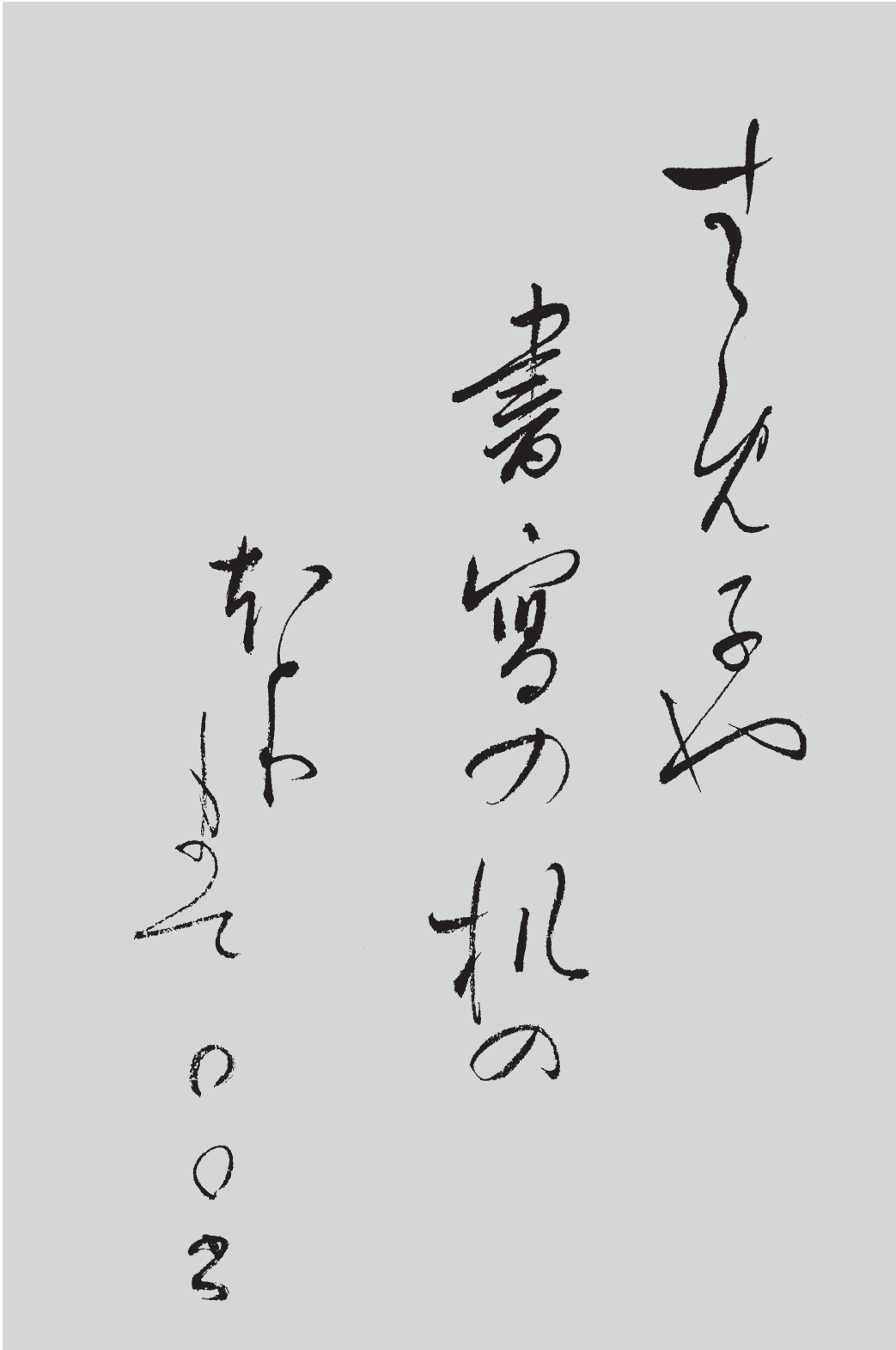
予告 昇試第一部漢字（三月二十二日締切）

黄鳥話春深（戴復古）

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は420円。

高塚竹堂先生書

すずめ子や書写の机のほとり迄（召波）
す、免子^めや書写の机の本^はと利^り末^まて



1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は420円

硬筆部課題参考

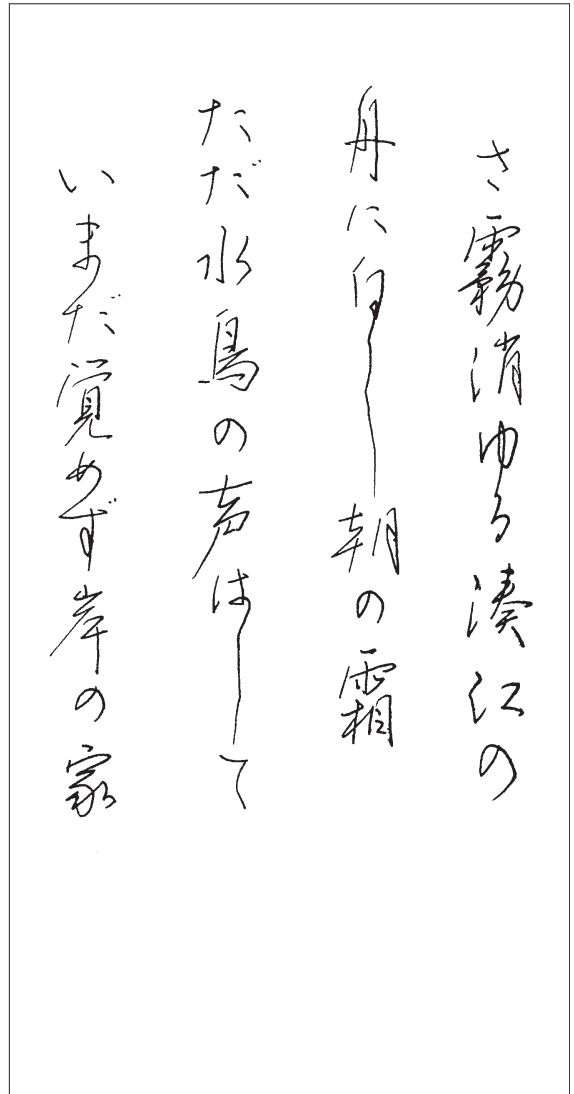
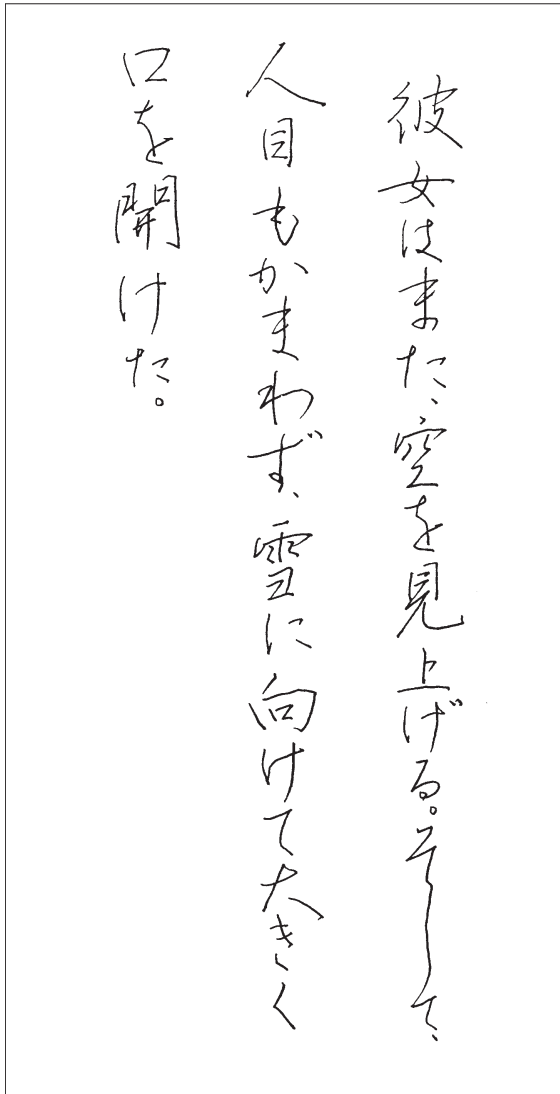
(二月二十二日締切)

松浦江波先生書

石原春香先生書

課題2 (初段階以下)

課題1 (初段階以上)



課題1 (初段階以上)

さ霧消ゆる湊江の

舟に白し 朝の霜

ただ水鳥の声はして

いまだ覚めず 岸の家

「冬景色」 文部省唱歌

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
- (2) ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位に)次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (4) 会員は無料・会員外は四二〇円
- (5)

課題2 (初段階以下)

彼女はまた、空を見上げる。そして、人目もかまわず、雪に向けて大きく口を開けた。

「雪の贈り物」 落合恵子